

(2 → 3) 15 mL に溶かし、希塩化鉄(Ⅲ)試液 2 ~ 3 滴を加えるとき、液は紫色を呈しない。

乾燥減量 1.0 % 以下 (1 g, シリカゲル, 3 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

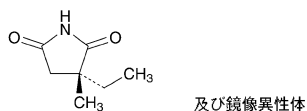
定量法 本品及びエテンザミド標準品を乾燥し、その約 0.02 g ずつを精密に量り、それぞれに 70 mL のエタノール(95)を加え、加温して溶かす。冷後、エタノール(95)を加えて正確に 100 mL とする。これらの液 5 mL ずつを正確に量り、エタノール(95)を加えて正確に 50 mL とし、試料溶液及び標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、エタノール(95)を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 290 nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

$$\begin{aligned} & \text{エテンザミド (C}_7\text{H}_{11}\text{NO}_2\text{) の量 (mg)} \\ &= \text{エテンザミド標準品の量 (mg)} \times \frac{A_T}{A_S} \end{aligned}$$

貯法 容器 密閉容器。

## エトスクシミド

Ethosuximide



$\text{C}_7\text{H}_{11}\text{NO}_2$ : 141.17

(*RS*)-2-Ethyl-2-methylsuccinimide [77-67-8]

本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、エトスクシミド ( $\text{C}_7\text{H}_{11}\text{NO}_2$ ) 98.5 % 以上を含む。

性状 本品は白色のパラフィン状の固体又は粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。

本品はメタノール、エタノール(95)、ジエチルエーテル又は *N,N*-ジメチルホルムアミドに極めて溶けやすく、水に溶けやすい。

融点: 約 48 °C

### 確認試験

(1) 本品 0.2 g に水酸化ナトリウム試液 10 mL を加えて煮沸するとき、発生するガスは潤した赤色リトマス紙を青変する。

(2) 本品 0.05 g をエタノール(95) 1 mL に溶かし、酢酸銅(Ⅱ)一水和物溶液(1 → 100) 3 滴を加え、わずかに加温した後、水酸化ナトリウム試液 1 ~ 2 滴を滴加するとき、液は紫色を呈する。

(3) 本品のエタノール(95)溶液(1 → 2000)につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

### 純度試験

(1) 溶状 本品 1.0 g を水 10 mL に溶かすとき、液は無色澄明である。

(2) 塩化物 本品 1.0 g をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.30 mL を加える (0.01 % 以下)。

(3) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 1 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下)。

(4) ヒ素 本品 1.0 g をとり第 1 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により試験を行う (2 ppm 以下)。

(5) 酸無水物 本品 0.50 g をエタノール(95) 1 mL に溶かし、塩酸ヒドロキシアンモニウム・塩化鉄(Ⅲ)試液 1 mL を加えて 5 分間放置した後、水 3 mL を加えて混和する。5 分間放置した後に比較するとき、液の赤〜赤紫色は次の比較液より濃くない。

比較液: 無水コハク酸 0.070 g をエタノール(95)に溶かし、正確に 100 mL とする。この液 1.0 mL に塩酸ヒドロキシアンモニウム・塩化鉄(Ⅲ)試液 1 mL を加え、以下同様に操作する。

(6) シアン化物 本品 1.0 g をエタノール(95) 10 mL に溶かし、硫酸鉄(Ⅱ)試液 3 滴、水酸化ナトリウム試液 1 mL 及び塩化鉄(Ⅲ)試液 2 ~ 3 滴を加え、穏やかに加温した後、希硫酸を加えて酸性にすると、15 分以内に青色の沈殿を生じないか又は青色を呈しない。

水分 0.5 % 以下 (2 g, 容量滴定法, 直接滴定)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

定量法 本品約 0.2 g を精密に量り、*N,N*-ジメチルホルムアミド 20 mL に溶かし、0.1 mol/L テトラメチルアンモニウムヒドロキシド液で滴定する (電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

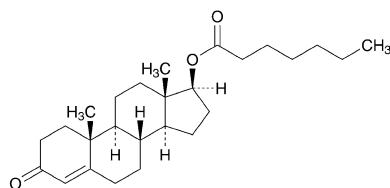
0.1 mol/L テトラメチルアンモニウムヒドロキシド液 1 mL = 14.117 mg  $\text{C}_7\text{H}_{11}\text{NO}_2$

貯法 容器 気密容器。

## エナント酸テストステロン

Testosterone Enanthate

テストステロンエナント酸エステル



$\text{C}_{26}\text{H}_{40}\text{O}_3$ : 400.59

3-Oxoandrost-4-en-17 $\beta$ -yl heptanoate [315-37-7]

本品を乾燥したものは定量するとき、エナント酸テストステロン ( $\text{C}_{26}\text{H}_{40}\text{O}_3$ ) 95.0 ~ 105.0 % を含む。

性状 本品は白色〜微黄色の結晶若しくは結晶性の粉末又は微黄褐色の粘稠な液で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。

本品はエタノール(95)、1,4-ジオキサン又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水にほとんど溶けない。

融点: 約 36 °C

確認試験 本品 0.025 g に水酸化カリウムのメタノール溶液